

ステップ記録ツールで PC 操作を自動記録

パソコン勉強会 2020(R2).2.22(日)

2020(R2).3.8~3.15 J. Ogawa

ステップ記録ツールは、PC 操作（右クリック、左クリック、ドラッグ等）のステップ順にスクリーンショット（PC 画面）を記録するソフトであり、Windows 7 以降に標準搭載されている。

（参考）Windows 7 では「問題ステップ記録ツール」と呼ばれていた。これはプログラム名の プロブレム ステップ レコーダー **psr.exe** (problem steps recorder) が、**問題解決のため PC 操作のステップ順に記録**することからの命名と思う。

【目次】

1. [ステップ記録ツール] の操作画面
2. [ステップ記録ツール] を起動する方法
3. 必要に応じて詳細機能を設定する
4. 記録を開始する
5. コメント文を 1 ステップとして追加記録する
6. 記録を一時停止する方法
7. 記録を再開する
8. 記録を停止し保存する
9. ステップ記録の見方

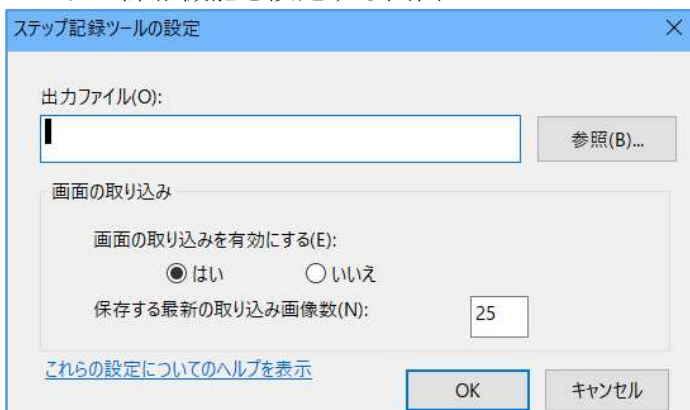
1. [ステップ記録ツール] の操作画面

ステップ記録ツールを操作するための操作画面は次のとおりである。

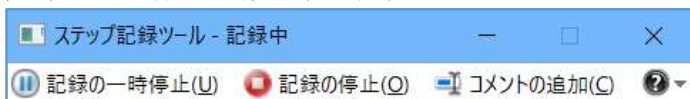
✖ 記録の開始を指示する画面



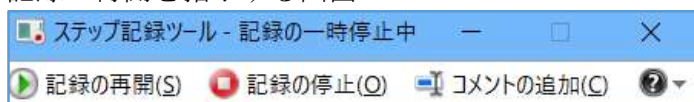
✖ アプリの詳細機能を設定する画面



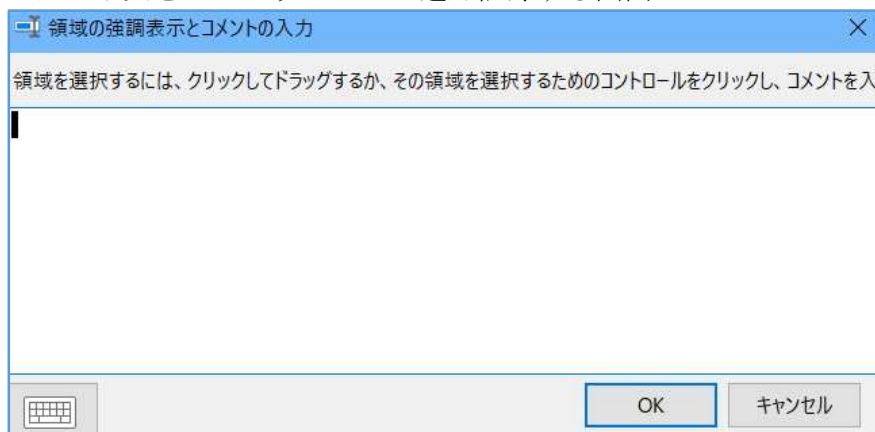
✖ 記録の一時停止を指示する画面



✖ 記録の再開を指示する画面



✖ コメント文を 1 ステップとして追加記録する画面



(注) スクリーンショットをぼかして表示し、入力したコメントをステップ名として追加する

2. 「ステップ記録ツール」を起動する方法

ここでは Windows 10 のステップ記録ツール (psr.exe) を起動する手順について説明する。

【手順 1】 「スタートメニュー」から起動する方法

- ① 「スタート」をクリックして「スタート」画面を表示する
- ② 「Windows アクセサリー」フォルダをクリックしてフォルダを開く
- ③ 「ステップ記録ツール」をクリックして「ステップ記録ツール」を起動する





【手順 2】 「ファイル名を指定して実行」で起動する方法

- ① 「スタート」を右クリックしてメニューを表示する
- ② 「ファイル名を指定して実行」をクリックして検索画面を表示する
- ③ 「名前」欄に「psr」と入力した後、「OK」をクリックして「ステップ記録ツール」を起動する



【手順 3】 ショートカットキー (+) を用いて起動する方向

- ①  キーと  キーを同時に押して「Windows 検索」画面を表示する
- ② 下部の「検索窓」に「psr」または「ステップ記録ツール」と入力して検索する
- ③ 「ステップ検索ツール」が表示されたら、クリックして起動する

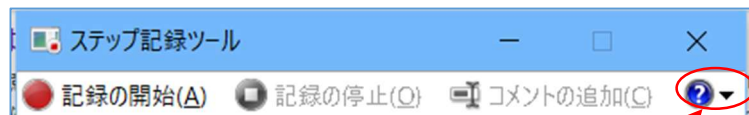


3. 必要に応じて詳細機能を設定する


ステップ記録ツールの「設定」画面を用いると、ステップ記録ツールの詳細機能や出力ファイルについて設定できる。

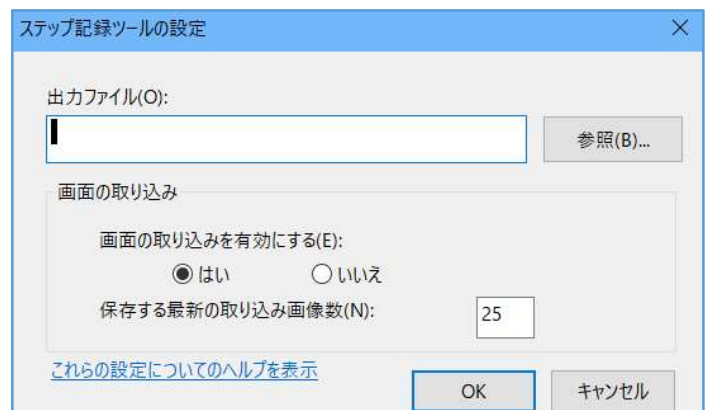
【重要】 ここで設定する設定内容は 1 回限り有効な機能条件であり、ステップ記録アプリを終了したら初期値に戻る。
このため、次回の実行時には再び設定を行う必要がある。

ステップ記録ツールの詳細機能等を変更する必要がある場合は、次の手順により変更を行う。



【手順】

- ① 「ステップ記録ツール」を起動した後、「ステップ記録ツール」画面の  (設定) をクリックして「設定」画面を表示する
- ② 必要に応じて、「出力ファイル」、「画面の取り込み」、「保存する最新の取込み画像数」を設定する



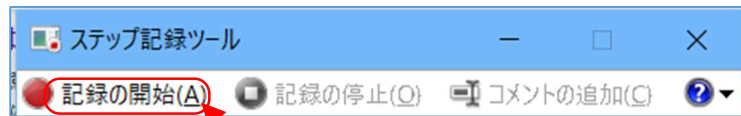
- ③ 「OK」をクリックして「ステップ記録ツール」画面に戻る

「設定」画面で設定できる詳細機能等は次表の通りである。

| 設定項目 | 設定内容 | 備考 |
|---------|---|---|
| 出力ファイル | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 出力ファイルの保存先とファイル名を設定 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 既定の保存先は「デスクトップ」 ◇ ファイル名を設定しない場合は、保存時に入力を求めてくる |
| 画面の取り込み | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 通常は「<input checked="" type="radio"/>はい」であるが、 ➤ 操作ステップのみ記録し、操作結果のスクリーンショットの記録が不要な場合には「<input checked="" type="radio"/>いいえ」とする | |
| 保存ファイル数 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 規定値では 25 ステップのスクリーンショットの記録が可能になっている ➤ 設定変更により最大 999 ステップまでのスクリーンショットを記録できる | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 保存するスクリーンショットの数が設定数を超える場合は、古いスクリーンショットから順に削除しながら新しいスクリーンショットを追加記録する、この機能により、設定数を超えても新しいスクリーンショットを記録し続けられる |

4. 記録を開始する

[ステップ記録ツール] の起動後、記録の準備ができたなら、次の手順で記録を開始する。

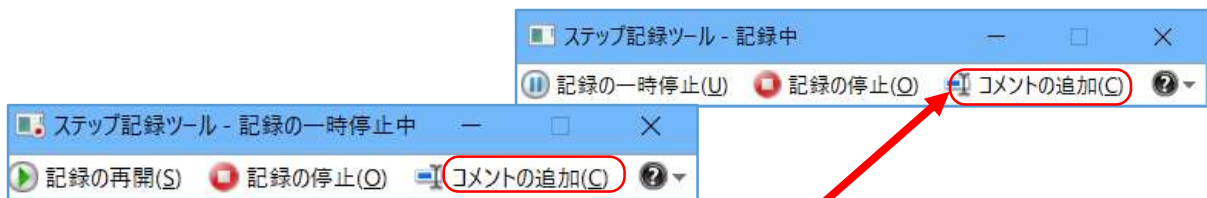


【手順】

- ① [ステップ記録ツール] 画面の [記録の開始] をクリックして記録を開始する
- ② 記録が開始されたら [記録中] 画面に変わる

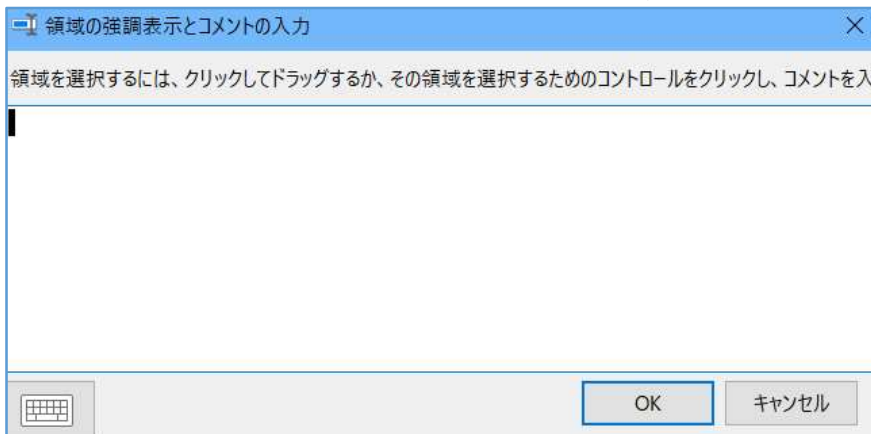
5. 任意のコメントをステップとして記録する

[ステップ記録ツール] の記録中や記録の一時停止中に割り込んで、任意のコメントをマーク付きのステップとして追加し記録できる。



【手順】

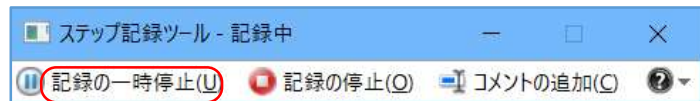
- ① [記録中] 画面または [一時停止中] 画面の [コメントの追加] をクリックしてキー入力したステップ名で新たなステップを追加挿入する



- ② 挿入するスクリーンショットはぼかして表示されているので、目的の部分を選択する（文字等をドラッグしてブロック選択、図形・画像をクリックして選択）
- ③ 画面の入力枠にコメント（ステップ名その他）を入力した後、**OK** をクリックしてコメントステップを追加挿入する

6. 記録を一時停止する

記録を開始して [記録中] 画面が表示されている場合は、任意の時点で記録の一時停止ができる。

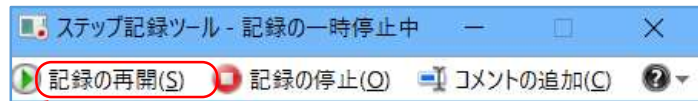


【手順】

- ① [記録中] 画面の [記録の一時停止] をクリックして、記録を一時的に停止する
- ② 記録が一時停止されたら [記録の一時停止中] 画面に変わる

7. 記録を再開する

記録を一時的に停止している場合は、任意の時点で記録の再開ができる。

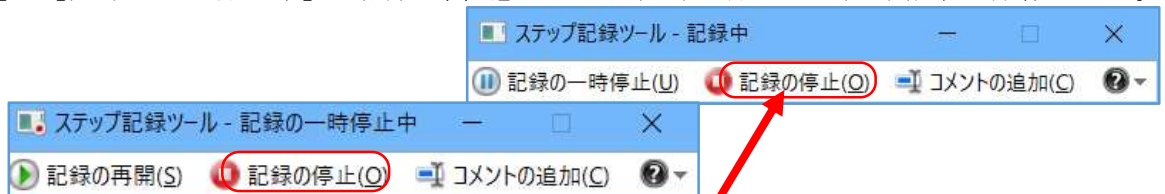


【手順】

- ① [記録の一時停止中] 画面の [記録の再開] をクリックして、記録を再開する
- ② 記録が再開されたら [記録中] 画面に変わる

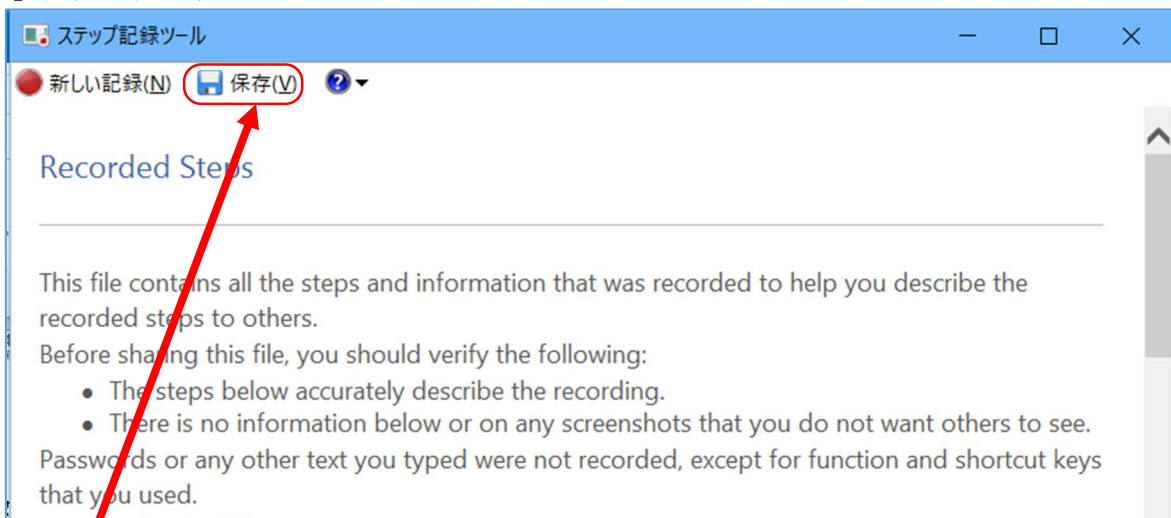
8. 記録を停止し保存する

[記録中] や [記録の一時停止中] の場合は、任意の時点で記録を停止して記録結果を保存できる。



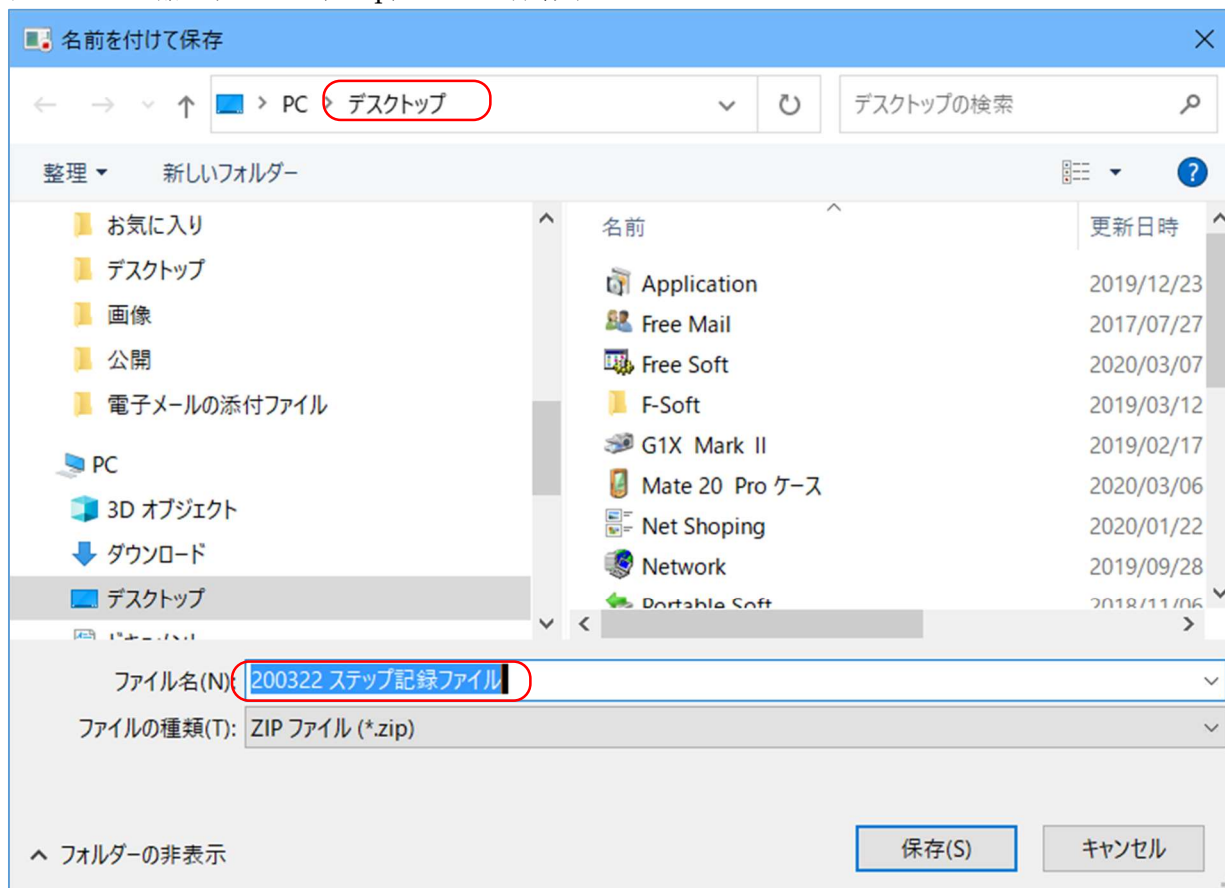
【手順】

- ① [記録中] 画面または [一時停止中] 画面の [記録の停止] をクリックして [ステップ記録ツール] 画面を表示する



- ② [保存] をクリックして [名前を付けて保存] 画面を表示する

- ③ 保存先が「デスクトップ」であることを確認した後、
「ファイル名」欄にファイル名（例：200322 ステップ記録のファイル）を入力し「保存」をクリックして圧縮ファイル（*.zip）として保存する



（補足） 3章「必要に応じて詳細機能を設定する」の設定で、保存先フォルダと保存ファイル名を設定している場合は、この操作は不要である

9. ステップ記録の見方

ステップ記録ツールで作成されるファイルは圧縮されて保存される。
記録された圧縮ファイル（****.zip）をダブルクリックして解凍すると Web ファイル（HTML）として表示される

第1セクション（Recorded Steps：記録されたステップ）

記録内容に関する注意事項と、記録内容を見る方法の説明

- ① Review the recorded steps（記録ステップを個々に見る）
- ② Review the recorded steps as a slide show（記録ステップをスライドショーで見る）
- ③ Review the additional details（ステップ毎の OS 情報、ソフト情報、その他に詳細情報を見る）

第2セクション（ステップ）

マウス操作（左クリック、右クリック、ドラッグ等）とスナックショットを対にしたステップが時系列に記録されている

第3セクション（その他の詳細）

その他の詳細情報（OS 情報、アプリ情報、その他）がステップ順に記録されている